



令和元年12月26日
 信濃川水系緊急治水対策会議(千曲川)
 信濃川水系緊急治水対策会議(信濃川中流)

**令和元年10月台風第19号豪雨水害を踏まえた
 「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト【中間とりまとめ】」を発表します。
 ～関係機関が連携し、逃げ遅れゼロと社会経済被害の最小化を目指す～**

令和元年10月台風第19号豪雨水害では信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、流域内の関係機関が連携して河川整備によるハード対策と地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に進めるため、国・県・市町村で構成する「信濃川水系緊急治水対策会議(千曲川)」(11月29日開催)、「信濃川水系緊急治水対策会議(信濃川中流)」(12月6日開催)を立ち上げ検討を進めてきました。このたび、関係機関のご意見を踏まえ「緊急治水対策プロジェクト」の中間とりまとめを発表するものです。

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト【中間とりまとめ】」の概要

○以下の3つを柱として取り組んでいきます。

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進(河川における対策)
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進(流域における対策)
- ③減災に向けた更なる取組の推進(まちづくり、ソフト施策)

※詳細については、[北陸地方整備局のホームページ](#)をご覧ください。
 (上記をクリックしてご覧いただけます)

同時資料配布記者クラブ

新潟県政記者クラブ
 新潟県政記者クラブ
 長野市政記者クラブ
 長野県庁会見場

問い合わせ先：

- <①信濃川水系緊急治水対策会議(千曲川)【事務局】>
- <②信濃川水系緊急治水対策会議(信濃川中流)【事務局】>
- 国土交通省北陸地方整備局 河川部 (代表：025-280-8880)
- ①・②河川計画課長 志野 直紀 [ハード対策]
- ①・②水災害対策センター長 鈴木 忠彦 [ソフト対策]
- 国土交通省北陸地方整備局 千曲川河川事務所
- ①副所長 万行 康文 (代表：026-227-7611)
- 国土交通省北陸地方整備局 信濃川河川事務所
- ②副所長 森田 賢治 (代表：0258-32-3020)

○令和元年10月台風第19号において甚大な被害が発生した、信濃川水系における今後の治水対策の方向性として、関係機関が連携し「**信濃川水系緊急治水対策プロジェクト【中間とりまとめ】**」を取りまとめました。
○引き続き、関係機関が連携を図りながら、具体化に向けた検討及び実践を行って参ります。

①被害の軽減に向けた治水対策の推進 (河川における対策)

<主な取組メニュー>

- 信濃川水系では、これまでの観測史上最高水位を更新する大きな洪水が発生し、堤防の決壊、越水が複数発生するなど、現況施設能力を超える事象や河岸侵食による被害が発生。
→被害の軽減に向けた治水対策を加速化し推進を図る。

- 河川水位を低下させるための取組
(例)・遊水地等の洪水調整施設の整備
・河道掘削による洪水流下断面の拡大
- 洪水流下断面を向上させるための取組
(例)・堤防の整備
・危機管理型ハード対策
- 既存施設を活用した洪水被害軽減対策の取組
(例)・堤防の強化
・霞堤等の遊水機能の保全



長野市穂保地先の堤防決壊、
浸水被害状況



新潟県小千谷市内における
浸水被害状況

②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進 (流域における対策)

<主な取組メニュー>

- 千曲川流域は周囲を山々に囲まれ、急峻な地形から流出速度が速く、複数の盆地と山あいの狭窄区間を交互に流れる地形特性から、外水や内水による氾濫被害が発生。
- 信濃川中流域では、上流の隣接県の洪水の影響も受ける地形特性や大河津分水路に頼る洪水処理により益々下流のリスク増大が懸念される。
→地域及び関係機関等が連携して浸水被害の軽減対策について検討し、取組を進める。

- 支流の流出抑制の取組
(例)・ため池等既存施設の補強や有効活用
・田んぼダムを活用した雨水貯留容量の確保
・学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- 支川氾濫抑制、内水被害を軽減する取組
(例)・支川水路における氾濫抑制等
・排水機場等の整備、耐水化の取組
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組
(例)・防災拠点等



長野県千曲市内における
浸水被害状況



新潟県長岡市内における
浸水被害状況

③減災に向けた更なる取組の推進 (まちづくり、ソフト施策)

<主な取組メニュー>

- 千曲川では、堤防からの越水や決壊、支川の氾濫などによる様々な浸水形態により、各住民が適切な避難準備、避難行動等を的確に取ることが困難であった。
- 信濃川中流では、降雨中又は降雨が収まった後、長い時間をかけて到達する洪水や支川の氾濫など様々な浸水形態により、各住民が適切な避難準備、避難行動等を的確に取ることが困難なところも見受けられた。
→洪水特性を踏まえた、きめ細やかな情報提供等を関係機関が連携し実施する事により、「減災」の取組を推進する。

- 住まい方の工夫に関する取組
(例)・「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの推進
・克雪型住まい(高床式)費用の助成活用の充実
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
(例)・マイ・タイムラインづくりの推進
- 災害危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
(例)・マスメディアとの連携強化
・公共交通機関との洪水情報の共有
・住民への情報伝達手段の強化

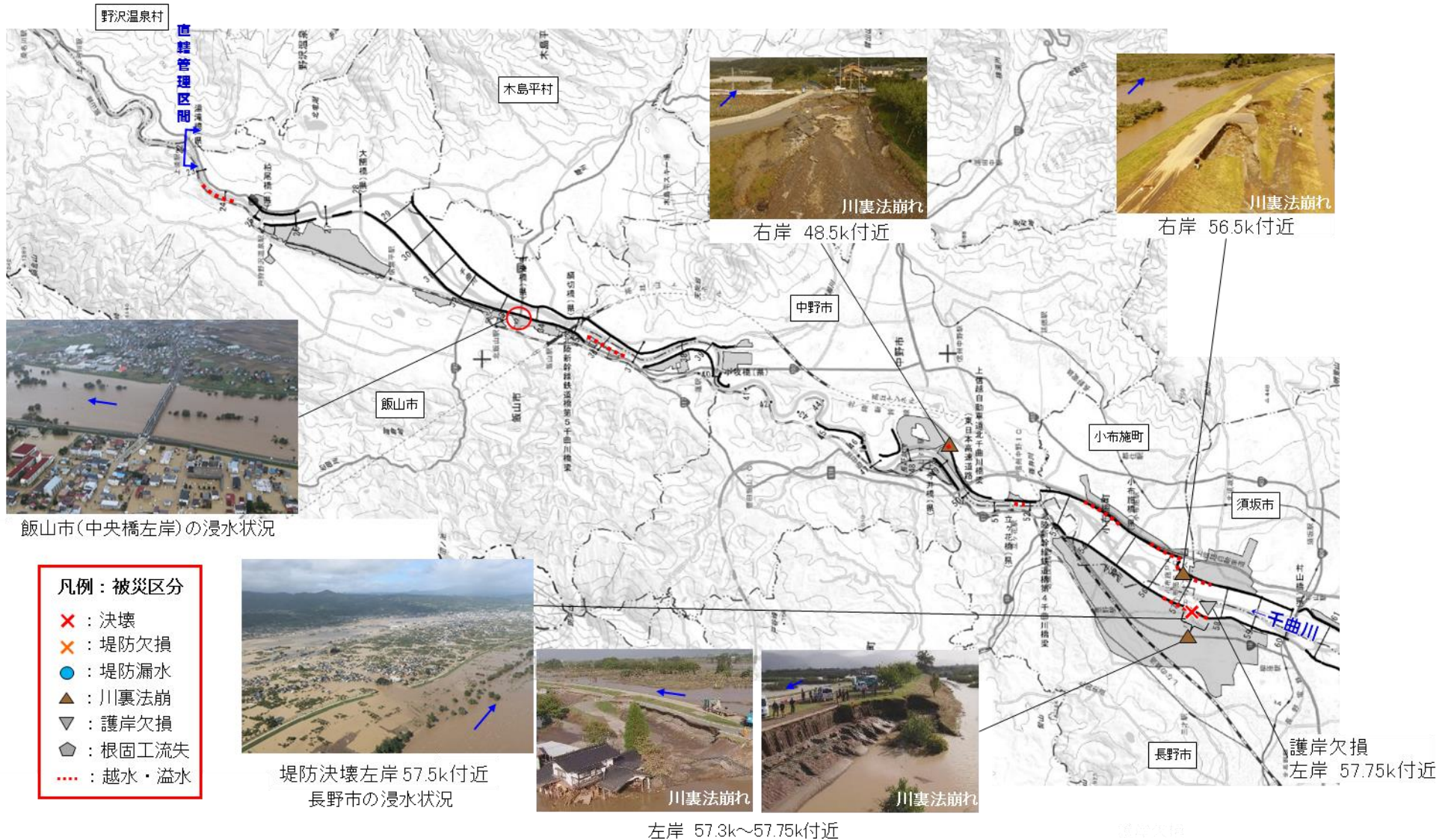


マイ・タイムライン講習会の様子



令和元年10月台風第19号の主な被害状況（信濃川水系千曲川）

詳細は参考資料をご覧ください



凡例：被災区分

- ✕：決壊
- ✕：堤防欠損
- ：堤防漏水
- ▲：川裏法崩
- ▼：護岸欠損
- ⬠：根固工流失
- ⋯：越水・溢水



堤防決壊左岸 57.5k付近
長野市の浸水状況



川裏法崩れ
左岸 57.3k~57.75k付近



川裏法崩れ

護岸欠損
左岸 57.75k付近

令和元年10月台風第19号の主な被害状況（信濃川水系千曲川）

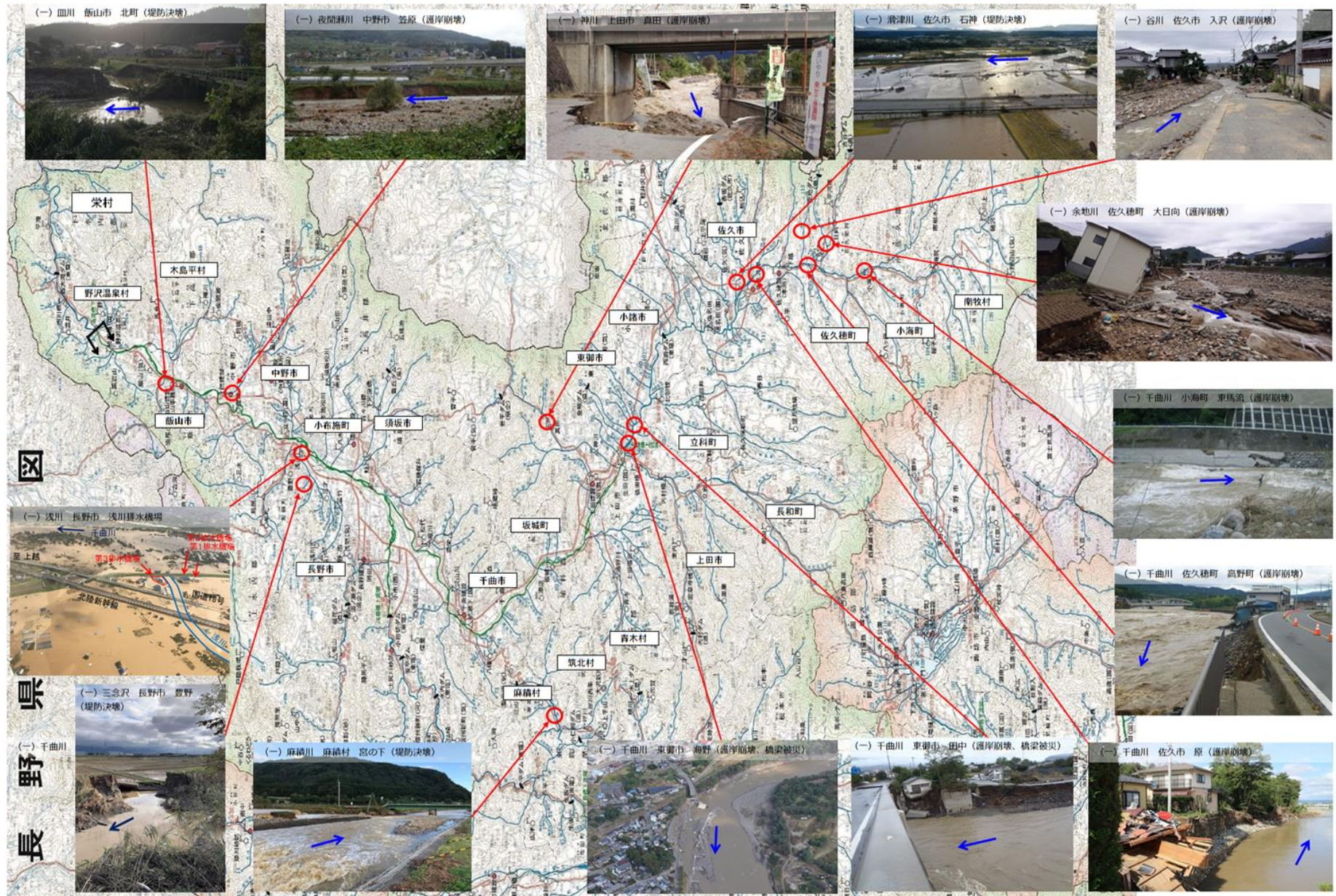
詳細は参考資料をご覧ください



※速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

令和元年10月台風第19号の主な被害状況（信濃川水系千曲川）

詳細は参考資料をご覧ください



千曲川(栄村～小海町)【長野県管理区間】

※速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

令和元年10月台風第19号の主な被害状況（信濃川水系信濃川中流）

詳細は参考資料をご覧ください

新潟県長岡市今井 地先【浄土川:太田川(県管理区間)合流点付近】



新潟県中魚沼郡津南町
外丸 地先(県管理区間)



新潟県中魚沼郡津南町
上郷寺石 地先(県管理区間)



新潟県小千谷市塩殿 地先



新潟県小千谷市川井 地先



新潟県小千谷市岩沢 地先



※速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。